

# 竹ノ下弘久研究会募集要項

## —社会階層論・計量社会学—

2018年11月15日

### 1. ゼミの研究対象

本研究会では、担当教員である竹ノ下の専門領域である社会階層論を主たる領域に、研究会の活動を進めていく予定です。社会階層論では、人々が現代社会を生きていくために必要な社会的資源の不平等な配分のあり方に注目し、資源の不平等配分が生じる社会的メカニズムを考察します。また、階層や不平等の形成は、政治、経済、地域社会など非常に幅広い社会的領域の中で生じます。

2019年度の研究会では、2018年度の研究会活動の中心的なテーマであった、人権問題、格差・不平等問題、地域社会における人間関係や他者への信頼感と協力行動に関わる質問紙調査の分析を継続して行う予定です。また、問題関心をさらに広げるために、格差不平等問題や、地域社会における人間関係、社会関係資本をテーマに、データアーカイブなどで学部学生にも公開されているマイクロデータの分析も並行して行いたいと考えています。統計分析を行うために、授業では何らかの統計分析ソフトを用います（SPSS, stata, R のいずれか）。竹ノ下研究会に所属する学生には、三田キャンパスで開講されている統計学や統計情報処理関連の科目の履修を推奨しています。

このような量的データの統計分析だけでなく、研究会の活動では質的調査も視野に入れた活動を考えています。2019年度には、塩原良和さんと共同で、社会変動論特殊研究Ⅱという授業を竹ノ下も担当します。その授業では、アクティブ・ラーニングの要素を取り入れたフィールドワークを実施します。具体的には生活が苦しい、生きにくさを抱えた人を支援する NPO 活動にボランティアとして参加していただき、そこで経験したことを考えます。また、夏休みに行うゼミ合宿では、2018年度に引き続き、地域での人間関係、協力行動、福祉、格差、人権をテーマとするインタビュー調査を、行政関係者や住民を対象に行う計画もあります。このような活動によって、抽象的な数値化されたデータを、具体的な文脈のもとで考えることができます。竹ノ下研究会を志望する学生は、上記の活動内容をふまえた上で、志望してください。

### 2. 授業の進め方

地域の社会関係資本、信頼、福祉、格差・不平等を扱う文献を購読します。文献購読には、対話型学習法（Learning through Discussion: LTD）というアクティブ・ラーニングの手法を用います。この手法では、受講学生全員が、指定された文献について、事前に与えられた項目に関して予習ノートを作成し、それをもとにディスカッションを行います。LTDの詳細は、初回の授業時にあらためて説明します。また、授業の前半には、統計分析に必要な統計学についての学習と、統計ソフトを用いた分析の実習を行います。分析結果の中間報告を三田祭で行い、上智大学、早稲田大学と合同で行っているフィールドワークの成果報告会でも報告します。研究会全体で行っている共通課題の遂行と並行して、個人研究報告も随時行います。授業は、2 学年合同で行うため、4年生対象の研究会にも出席することが求められます。

### 3. 入ゼミ課題・選抜方法

(1) **2018年1月25日(金曜日)午後11時59分59秒までに**、以下のアドレスまで、次の3つのファイルを添付でお送りください。

E-mail: takezemientry18@gmail.com

なお、このアドレスには、自動返信の設定をしておきますので、自動返信が書類の受領通知となります。もし、自動返信が来ない場合は、[hirotake@law.keio.ac.jp](mailto:hirotake@law.keio.ac.jp)まで、ご連絡ください。

(2) レポート課題

以下の文献からいずれか1つを選んでください。

課題文献：

稲葉陽二『ソーシャル・キャピタル入門：孤立から絆へ』中公新書

辻竜平・佐藤嘉倫編『ソーシャル・キャピタルと格差社会——幸福の計量社会学』東京大学出版会

阿部彩『子どもの貧困』岩波新書

白波瀬佐和子『生き方の不平等』岩波新書

竹ノ下弘久『仕事と不平等の社会学』弘文堂

渡辺秀樹ほか編『勉強と居場所——家族と学校の日韓比較』勁草書房

渡辺秀樹・竹ノ下弘久編『越境する家族社会学』学文社

これらの文献のうちの1つを読み、その内容を要約し、自分自身の意見を述べなさい。

字数 4000 字以下 書式 40 字×35 行

前半で著者の議論を要約し、後半で、著者の議論について論評する。

(3) 志望理由と研究関心

所属、氏名、メールアドレスを明記のうえ、志望理由（400 字以下）、卒業論文で取り上げたいテーマ（2000 字程度）について論じてください。

(4) 成績証明書をスキャンしたファイル(書類の中に、学籍番号と氏名が明記されていること)。

本研究会では、最低2万字以上で卒業論文を執筆していただくことを必須の課題とします。今回提出していただく研究関心の部分では、卒業論文でどのようなテーマをどのように論じるか、最低2点以上の文献を参考にし、それらを比較しながら論じてください。竹ノ下研究会で扱うテーマは、不平等研究や社会階層論に近いものが望ましいですが、広く社会学全般についても対応可能です。階層論は、家族、学校教育、労働市場という3つの社会的領域の中で不平等が生じるメカニズムに注目します。また、ジェンダーや人種・エスニシティも不平等が形成される重要な要素です。地域間の不平等や国際比較、不平等と関わる社会保障政策や福祉政策も、階層論の守備範囲です。地域の間人間関係やソーシャル・キャピタルからも、不平等を考えることができます。担当教員は、統計データを用いて研究を進めていますが、質的調査を用いて卒業論文を執筆していただいてもいいです。とはいえ、何らかの社会調査データや資料に依拠して研究を進めていただくことを担当教員としては希望します。

4. 統一選考について

これら3つのファイルの提出者についてのみ、2月4日（月）の統一選考日に選考します。

面接には、普段と同様の服装でお越しください。